

(サイト掲載用)

第1回大分県パラスポーツ指導者協議会の在り方について考える会 議事録(抄)

日時 令和6年9月19日(木)19時～20時40分
場所 大分県身体障害者福祉センター 生活訓練室(洋室)
参加者 (内訳) 大分県パラスポーツ指導者協議会 現役員(7名)
(13名) 同 協議会 会員のうち参加希望者(6名)

以下、主な意見交換内容を記録。

【在り方検討会の進め方について】

- 本検討会の目標と進め方について提案、意見交換を実施。
- 提案内容は、今後下記のとおり。
 - ① 当協議会会員に対するニーズ調査
 - ② ニーズ調査結果を踏まえた意見交換(在り方検討会、その都度当協議会会員に参加呼びかけ)
 - ③ 今後の在り方の取りまとめ及び次年度総会への提案
- 基本的な進め方は提案通りとし、ニーズの把握とともに、指導員が活動に参加する機会を増やす仕掛けを同時に考えていく必要がある等の意見。

【具体的な意見交換】

- 現在の課題や改善策等について様々な意見やアイデアが出された。以下、主なものを記録。

(活動の場の減少)

- ・ おおいた国体前は、当協議会会員が中心に様々な競技の活動をしていたが、現在は、コロナ禍を契機に、指導員が活動できる場が少なくなっている。
- ・ 当協議会に様々な活動の情報が集まりにくく、情報発信の機会も少ない。
- ・ 以前のように積極的に声をかけてくれる指導員間のネットワーク構築が不十分。
- ・ 競技団体等が熟成し、支援を必要としていない団体も増えている。

(考えられる仕掛け)

- ・ 地域のイベントに地域の指導員が参加できるような仕組み。
- ・ 各地域の総合型地域スポーツクラブとの連携。

(情報発信の手段)

- ・ 封書・書面を希望する世代のみならず、LINE やメールを希望する世代も増加。

(その他)

- ・ 指導員(競技特化、オールマイティ)の方向性の検討。

【今後の予定】

- ・ 議事録等をサイト掲載のうえ、会員へ参加を引き続き呼びかけていく。
- ・ ニーズ調査項目案はメールにて協議のうえ作成し、当協議会会員あて発送する。